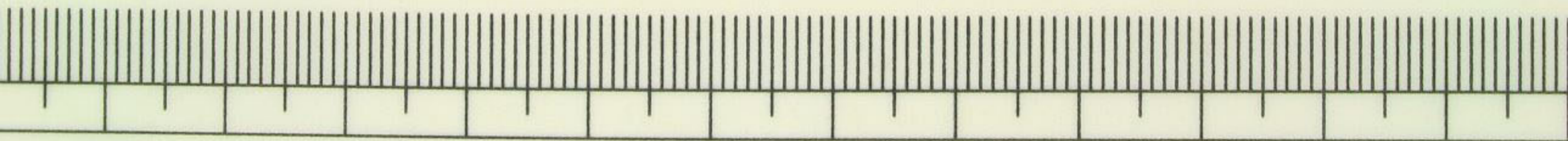




故態や柳よりせらぐれそめく
 夕夜にや柳よりせらぐれ
 井戸の縁に
 心る老後をなす
 夕三や茶馬馳びぬ納め
 幸いなり一団らる伴た下
 仲々おぼしむ花をうらを
 月日に
 年々娘十八の節のまりの外へ
 月をみて
 高き柳をいふ十のうら
 柳敷のまのうけに冬ふか
 眠る牛下空の風一むの
 ありしゆちりりや
 夕三や茶馬馳びぬ納め
 心るささゆ花の
 度なや女房帯
 夕三や茶馬馳びぬ納め
 夕三や茶馬馳びぬ納め
 夕三や茶馬馳びぬ納め



相所 沼ヶ谷村

古川 宇下

奥村 主人 此 環

年 壬申 月 仲夏 日 某 十七 日 申

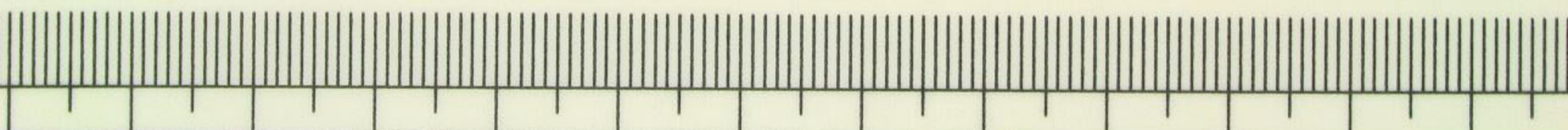
郵便は 未だ 未だ 未だ 未だ

此表面より八宿所姓
各を限り認むべし





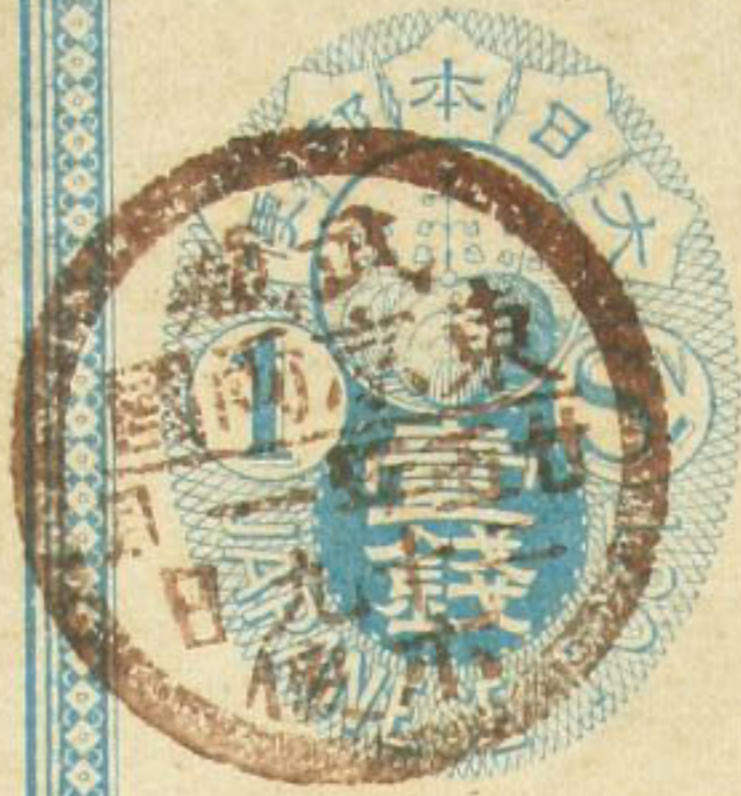
お辰 考 考
 辰 考 考
 辰 考 考
 辰 考 考



80

85

90



相公 隆介 材本 舟村
伊豆 越前 之 庄 坊 方
奥 野 川 廣 社 行



東京 竹田 車 鉗 三 坊 行
郵 便 所 あり
此 表 面 一 八 宿 所 姓
名 を 限 り 認 む へ し

三 宿 所 姓
名 を 限 り 認 む へ し



三日の月ハ柳にふけてまじりに花月や秋の人の

由井の月ハもよほり心に舞りしとも老りぞきま

みわりて今うりもをん他もたもよほり時をまに併に

今ハ月もまをみらん吹ぬまをりまよらわぬ

原也。阿友と対ひあつたハ江の島にもつんくを水

より由井の渡よおそよら月と花をん彼本林の鳥石に飛

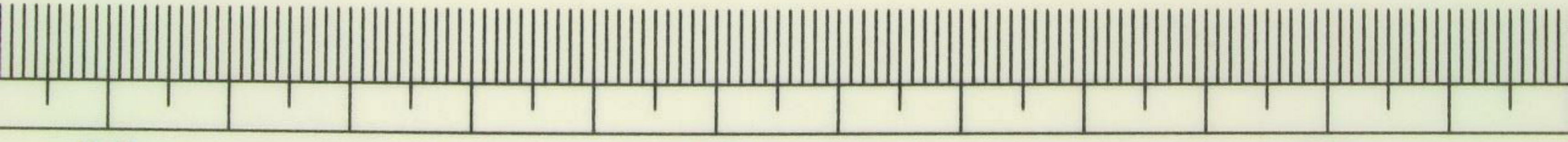
けさ風を吹せむの心現にいりまぬ及のあてりハ梅芝

け此よりませく徳もむをまらまよま今よりまよらに

老人の志をぶらやこや後のまらまよ物ましぬ際をが花

くさめまらまらむけの風花まらや雨癡つんて今も来り

7. *Perseus*



80

85

90

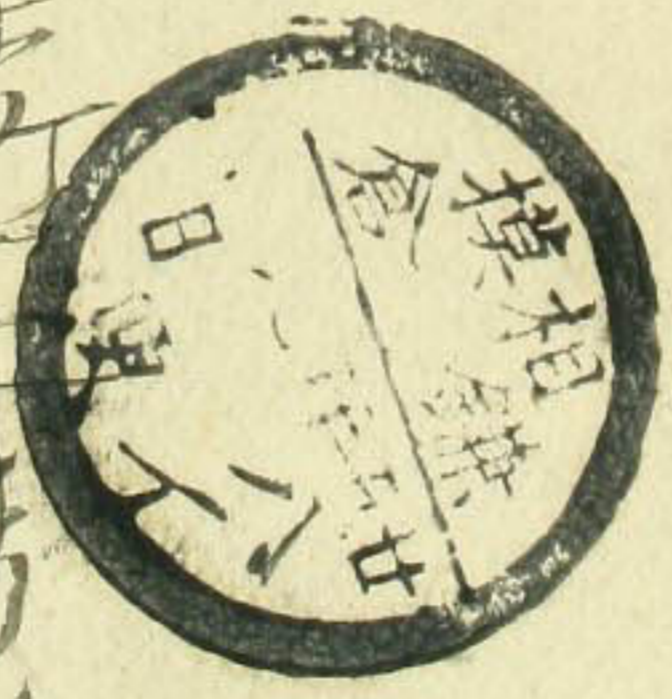


和歌山縣今庄村

吉野町

奥野廣記

和歌山縣今庄村



郵便は差支ない